

CAN、LINバス波形観測&プロトコル解析

概要

DLM2000シリーズ（CAN,LINバス信号解析機能）は、専用トリガで捕捉したCAN,LINバス物理層電圧波形を画面上で更新しながら、プロトコル解析結果も高速リアルタイム表示します。センサ出力などのアナログ信号とCANやLIN信号との組み合わせ条件、また2つのバスの組み合わせ条件でトリガを指定することもできます。2つのバス（例：High-Speed CANとLow-Speed CAN）は同時解析&波形表示が可能です。

さらにDLM2000では、CAN DBCデータベースファイル(.dbc)を読み込み、CANバス物理値（Message/ Signal）によるトリガ設定や、解析結果（デコード）を表示できます。特定のMessage/Signalを指定し、そのトレンドグラフも表示できます。

